

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年3月31日

団体名 ピノキオ合唱団

代表者 野本 篤

構成員 6人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

合唱団の運営を通じて高齢者の社会的孤立を防止すべく「集いの場」を創出し、地域福祉の向上に寄与すると共に参加する市民が主体的に地域の活性化に取り組めるように参加する市民の育成を推進していく。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
毎月第2・4 木曜日	岡崎学区 市民ホーム	関心を持っていた市民	9人	定期練習会と併せて体験会を実施した。
7月17日	デイサービス おかげ庵	デイサービス利用者	20人	デイサービス利用者に向けて合唱を提供すると共に合唱体験を実施。
8月10日	やはぎかん	イベント来場者	70人	岡崎グランドポップスオーケストラとの協働にて本会の活動報告と体験の機会を創出。
1月30日	岡崎ニュー グランドホテル	イベント参加者	60人	岡崎政経同友会の会員に地域福祉との関わりを推進。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

定期練習による「集いの場所」の創出が実現できた。また、体験会を通じて新たな参加者もあり、高齢者の社会的孤立を防ぐ考え方の周知や地域福祉の担い手となる市民が増えてきた。
高齢者が利用するデイサービス事業者と連携し、音楽や合唱による高齢者に与える良い効果を確認し発信することができた。
市内経済団体の会員に地域福祉の存在と必要性を知っていただき、多様な活動に支援していただくことを推進し発信することができた。
市内の音楽家とのコラボ企画を実施し「岡崎アーティスト」の活用を推進すべく発信した。
市内のチャリティー団体の趣旨に賛同しイベントに協力した。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

前年度と同様に、年間を通じて安定して活動ができたと評価するものの、まだまだ本会の活動の目的のひとつである高齢者の社会的孤立の予防活動の必要性の周知は満足いくものではない。

ただし、主体的な地域福祉の担い手の育成という面では、少しずつでも意識変化は見られていると考えている。